

防災計画部会（R1年度 第1回）開催議事録

日時	2019年05月17日（木）18：00～21：00	
場所	エルおおさか（大阪府立労働センター） 707会議室	
出席者	原田、秋月、角谷、小林、田中、長野、仁井、西野、森山、湯谷（敬称略・委員名は五十音順計10名）	

【配布資料】（資料番号はこれまで開催した部会・研究会の通し番号とした。敬称略）

203-1 防災計画部会（H30 第3回）・加圧防煙システム研究会第202回議事録 [角谷]

203-2 メーリングリストの運用について [原田]

203-3 火災性状予測計算ハンドブックの解説 [原田]

203-4 火災性状予測計算ハンドブックの例題案（火災誌解説記事） [秋月]

203-5 2019年度 AIJ 大会梗概（内装の燃焼拡大と散水の効果を考慮した初期火災性状予測） [西野]

【議事内容】

1. 前回部会・研究会の議事確認

- 前回の議事録案（資料203-1）について読み上げて確認した。必要な修正を行い、次回に再確認する。

2. 審議内容

1) 議事録の公開

- 内容が了承された議事録は日本建築学会近畿支部防災計画部会のホームページで逐次公開する。

2) メーリングリストの運用（資料203-2）

- メーリングリストの登録状況・参加方法について報告があった。
- メーリングリストの使用範囲は、「火災事故が起こった時の情報交換・意見交換、火災安全設計に関する疑問点の検討、火災研究成果の発信、実験・見学会などの案内」とする。

3) 火災性状予測計算ハンドブックの解説（資料203-3）

- 主査より火災性状予測計算ハンドブックの解説があった。
- 火災性状予測計算ハンドブックに関する本部会の活動としては、①ハンドブックに記載されている現状の知見（現在分かっていること）を普及させるための啓発活動と、②実務的なニーズがあるがハンドブックに記載されていない内容を新たに発見し検討した結果を提案していく研究活動の2種類あるということが確認された。
- 普及のための例題はハンドブックの章ごとに作成してはどうかという意見があった。

4) 火災性状予測計算ハンドブックの例題案（資料203-4）

- 委員より火災性状予測計算ハンドブックの例題案として主要構造部や内装等に木材を多く活用した図書館（火災誌の解説記事）の紹介があった。
- 薬剤による不燃木材の使用（現在は薬剤の白華が生じているとのこと）、傾斜天井を有する吹き抜けの内装木質化・スプリンクラーの設置などが特徴的であり、例題として良いのではないかという意見があった。
- 図面が不足していることもあり、現況把握のための見学会を今年度の AIJ 大会あたりで開催してはどうかという意見があった。

5) 2019年度 AIJ 大会梗概の紹介（資料203-5）

- 委員より内装の燃焼拡大と散水の効果を考慮した初期火災性状予測に関する研究の紹介があり、火災性状予測計算ハンドブックで不足する知見の例がいくつかあげられた。

6) 次回の部会に向けた課題

- 次回、火災性状予測計算ハンドブックの普及のための例題を提案する。
- 将来的には、火災性状予測計算ハンドブックで不足する知見や課題を整理する。

3. 今後の部会予定

2019年07月19日（金）

2019年09月13日（金）

2019年11月15日（金）

いずれも、時間は18:00～とし、場所はエル・おおさか（大阪府立労働センター）会議室とする。
またこれらの日程については、部会ホームページに掲載する。

[記録：西野]